

科目名	造形表現と遊び		
担当講師	宮川 紗織	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	演習 30 時間・1 単位	開講学年	1 学年 後期
評価基準	最終レポート 30%, 提出作品およびポートフォリオ等 25%, 授業態度 30%, 授業の出席率 15%		
目標	幼児の感性や創造性を豊かにするためのさまざまな表現遊びや環境構成、幼児の発達段階にあわせた活動計画等を実践的に学び、幼児期の表現活動を支援するための知識・技能、表現力を身に付ける。		
回	講義内容	方法	
1	授業ガイダンス 今後の授業の進め方 アートカードで自己紹介	講義・演習	
2	幼児の造形表現① 片栗粉粘土 触覚の変化をあじわう	講義・演習	
3	幼児の造形表現② 造形表現の意義、においをあじわう	講義・演習	
4	幼児の造形表現③ 生活素材・自然素材との出会い	講義・演習	
5	幼児の造形表現④ 平面：点と線から面へ 幼児の造形表現の特徴 子どもの発達と描画に見られる特徴	講義	
6	幼児の造形表現⑤ 平面：モダンテクニック	講義・演習	
7	幼児の造形表現⑥ 平面：モダンテクニックを活用して作品づくり 1	講義・演習	
8	幼児の造形表現⑦ 平面：モダンテクニックを活用して作品づくり 2	講義・演習	
9	造形表現から遊びへ 身にまとう：ごっこ遊び	講義・演習	
10	保育者の支援 材料・用具・場と空間と協働による活動①	講義	
11	協働による活動② グループワークによる模擬保育	講義・演習	
12	協働による活動③ グループワークでの実践 1 と考察 1	講義・演習	
13	協働による活動④ グループワークでの実践 2 と考察 2	講義・演習	
14	協働による活動⑤ グループワークでの実践 3 と考察 3	講義・演習	
15	本科目のまとめと最終レポート	レポート	
テキスト・参考書	吉田収 宮川萬寿美編著『生活事例からはじめる 造形表現』青踏社 榎英子『保育をひらく造形表現』：萌文書林 磯部錦司『生活から生まれる新しい造形活動 子どもとアート』：小学館 無藤隆『事例で学ぶ保育内容 領域表現』：萌文書林		